

## 父親の育児参加を促す取り組み

株式会社グッドバンカー  
リサーチチーム

2010年スタートした「改正育児・介護休業法」では、「父親も子育てできる働き方の実現」がポイントの一つとして挙げられていましたが、企業でも、育児支援をはじめとする男性社員のワーク・ライフ・バランス推進を重要な課題ととらえ、さまざまな施策を検討、実施するところが増えていきます。

一方、政府や企業内での施策に加えて、男性の育児参加を促すためには、社会全体での支援も重要となります。今回は、米国のNPOが実施している、父親の育児参加を支援する独自のプログラム「All Pro Dad」を紹介します。

「All Pro Dad」は、家族とのつながりを強めるための活動を展開するNPO「Family First」が手がける、父親のためのプログラムです。同プログラムには、アメリカンフットボールのプロリーグであるNFL（National Football League）の現役選手やOB、コーチなどが、スポークスマンとして協力しているほか、父親と子供が触れ合うためのイベント開催などをNFLのチームが支援しています。

また、企業との協働では、Chick-Fil-A社との取り組みが注目されます。Chick-Fil-A社は、チキンを主とするファストフードチェーンで全米第2位の規模ですが、創業者であるCEOの信条で、日曜日は営業しないというユニークな会社です。「All Pro Dad」は、月に1度、学校の始業前に1時間、父親と子供と一緒に朝食を取り、ほかの参加親子とも交流する機会を設けています。その際、Chick-Fil-A社の店舗、あるいは学校のカフェテリアが会場となっています。

「All Pro Dad」のホームページには、子育てに関わる情報やさまざまなツールが掲載されており、毎月10万人以上の父親がアクセスしているそうです。「All Pro Dad」は、NFLの選手など影響力のある人々に加え、Chick-Fil-A社のように社会貢献のために経営資源を提供する企業との協働を通じて、よりインパクトのある、幅広い活動を展開しています。

父親の育児参加を社会全体でバックアップするため、企業には、社内だけではなく、社外での取り組みも期待されます。独自のアイデアとノウハウを持つNGOやNPOなどとの協働による、互いの強みを活かした活動は、社会貢献活動の一環としても注目されます。